

令和 6 年度第 2 回勝浦市地域公共交通活性化協議会会議次第

日時：令和 6 年 8 月 5 日（月）午後 2 時から

場所：勝浦市役所 4 階 大会議室

1. 開 会

2. 報 告

- （１）勝浦市地域公共交通運賃協議会の協議結果について
（資料 P3～P11）

3. 議 題

- （１）勝浦市地域公共交通計画の令和 5 年度評価等結果について
（資料 P12～P13）

4. その他

5. 閉 会

令和6年度勝浦市地域公共交通活性化協議会 委員名簿

	所属元役職名	氏 名	備考
1	勝浦市 副市長	加藤 正倫	
2	国土交通省 関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	高橋 直人	
3	千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当 課長	伊藤 昌央	代理出席 山崎 乙濃
4	勝浦警察署 地域交通課長	石井 正志	
5	夷隅土木事務所 所長	宮下 直也	
6	千葉県バス協会 専務理事	成田 斉	
7	千葉県タクシー協会 常任理事 外房支部長	大矢 昌明	
8	東日本旅客鉄道(株) 勝浦駅長	小口 宗昭	
9	小湊鉄道(株) バス部長	深山 宏樹	
10	日東交通(株) 鴨川営業所長	松井 大樹	
11	エミタスタクシー南総(株) 取締役支配人	古川 実	
12	小湊鉄道労働組合 書記長	清水 崇志	欠席
13	勝浦市区長会連絡協議会 上野地区会長	吉野 安男	
14	勝浦市区長会連絡協議会 総野地区会長	渡邊 浩之	
15	勝浦市民生委員児童委員協議会 会長	内田 和夫	
16	勝浦市社会福祉協議会 監事	須金 重治	欠席
17	勝浦市 都市建設課長 (市道・道路管理担当)	栗原 幸雄	欠席
18	勝浦市 福祉課長 (障害者福祉担当)	水野 伸明	欠席
19	勝浦市 学校教育課長 (学校教育担当)	柴関 左恭	欠席
20	勝浦市 高齢者支援課長 (高齢者福祉・支援担当)	篠宮 寛敬	

令和6年度 第2回勝浦市地域公共交通活性化協議会 座席表

【副会長】 エミスタクシー南総(株) 取締役支配人 古川 実	【会長・議長】 勝浦市副市長 加藤 正倫	【副会長】 小湊鉄道(株) バス部 部長 深山 宏樹
勝浦市 区長会連絡協議会 総野地区会長 渡邊 浩之		国土交通省 関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官 高橋 直人
勝浦市 区長会連絡協議会 上野地区会長 吉野 安男		千葉県総合企画部 交通計画課企画調整室 山崎 乙濃(代理出席)
勝浦市民生委員 児童委員協議会 会長 内田 和夫		勝浦警察署 地域交通課長 石井 正志
勝浦市高齢者支援課 課長 篠宮 寛敬		夷隅土木事務所 所長 宮下 直也
【オブザーバー】 小湊鉄道(株) モビリティ推進部 横山 正晃		千葉県バス協会 専務理事 成田 斉
【オブザーバー】 エミスタクシー(株) 営業部 池邊 次男		千葉県タクシー協会 常任理事 外房支部長 大矢 昌明
【オブザーバー】 エミスタクシー南総(株) 総務部 秋葉 浩次		東日本旅客鉄道(株) 勝浦駅長 小口 宗昭
		日東交通(株) 鴨川営業所長 松井 大樹

【事務局】 勝浦市企画課 政策推進係 忍足・鈴木	【事務局】 勝浦市企画課 課長 青山 大輔
【オブザーバー】 ランドブレイン(株) 井口 賢人 土屋 大樹	【オブザーバー】 御宿町企画財政課 埋田 禎久 柴原 進一 宮本 未来

【報告事項】

令和6年度第1回勝浦市地域公共交通運賃協議会の協議結果について

1 勝浦市地域公共交通運賃協議会の設置について

令和5年10月1日の改正道路運送法の施行に伴い、これまでのバス等の乗合旅客運送の運賃・料金に関する事項については、地域公共交通協議会において協議することとしていたものが、公聴会等により住民等の意見を聴取した上で、独占禁止法に接触しないよう構成員を限定した形で、別の協議会により協議を行う運用に変更となりました。

これを受け、道路運送法第9条第4項に基づく「勝浦市地域公共交通運賃協議会」を令和6年4月1日付けで設置しました。（R6.3.27：第4回会議にて説明済み）

2 第1回勝浦市地域公共交通運賃協議会開催結果

開催日時：令和6年8月5日（月）に開催したところ、以下の結果となり協議が調いましたのでご報告いたします。

（1）協議内容（議題）

①副会長の選出について

②デマンドタクシー運賃協議（運賃改定）について

■運賃改定案（※改定予定日：令和6年10月1日（火）から）

区分	現行	改定案
大人	400円	500円
中学生・高校生 運転免許証自主返納者 （運転経歴証明書の所持者） 障がい者手帳所持者及びその介護者	200円	200円
小学生（保護者同伴）	100円	無料
未就学児（保護者同伴）	無料	無料

■改定理由

①大人運賃（400円 ⇒ 500円）

近年の人件費や燃料費の高騰による運行経費の上昇、及び市内の路線バスやタクシーなどの公共交通の利用料金を勘案した料金設定となっております。

②小学生運賃（100円 ⇒ 無料）

小学生の頃から公共交通に親しむことで、将来的な公共交通の利用促進を図るとともに、子育て支援策の一環として無料といたします。

（2）住民等への意見聴取結果

意見聴取内容：令和6年10月からのデマンドタクシー運賃（案）について

意見聴取方法：市ホームページ等における公開型意見募集

募集期間：令和6年6月14日（金）から7月16日（火）

意見提出件数：1件（別紙参照）

（3）審議結果

	議題	審議結果
1	副会長の選出について	承認
2	デマンドタクシー運賃協議（運賃改定）について	承認

第3号様式

意見公募(パブリックコメント)の結果

○件 名 予約制乗合タクシー【デマンドタクシー】運賃(案)について
 ○意見等の募集期間 令和6年6月14日(金)～ 令和6年7月16日(火)
 ○意見等の受付件数 1件

1 寄せられた意見等を内容により整理し、意見等の概要として掲載します。

予約制乗合タクシー【デマンドタクシー】運賃(案)についての意見

番号	提出のあった意見等の概要	市の考え方
1	<p>・料金設定について</p> <p>料金改定に関する懸念点として、400円から500円への25%の値上げが大きな影響を及ぼすことが挙げられます。</p> <p>また、収入のない学生にとって200円の負担は理解できるものの、大人運賃が500円で運転経歴証明書所持者が200円という設定には300円の差が生じ、妥当性に疑問が残ります。運転経歴証明書を持つ人々は収入があるため、他の交通手段や自治体の料金と比較すると、運転経歴証明書所持者や75歳以上の方は、一律で100円から200円程度の割引と考えます。</p>	<p>この度、料金を現行の400円から500円とする改定案としており、利用者への影響はあるものと考えております。</p> <p>この改定案の理由としては、まず近年の人件費や燃料費の高騰による運行経費の上昇が大きいところです。加えて、市内で移動する際の公共交通の料金目安として、路線バス運賃が500円以内であり、またタクシー運賃が500円以上であることを考慮し、今回の改定案とさせていただきます。</p> <p>なお、運転経歴証明書所持者の料金については、高齢者等が運転免許証の自主返納をした場合に、自家用車がないと生活が不便という状況を少しでも和らげることができればという考えから、今回は現行と同額とさせていただきます。</p>
2	<p>・変更による試算</p> <p>大人運賃の変更が利用者数や収支に与える影響を試算し、結果を記載すべきではないでしょうか。</p> <p>また、この変更が、勝浦市地域公共交通計画の目標値に影響を与える場合、計画の改訂も必要だと考えます。</p>	<p>サービス内容を現行と同様とした場合、運賃の改定による利用者数の減少はありえるものの、一方でここ数年のデマンドタクシーの利用者数が増加傾向にあることを考慮すると、利用者数に大きな変化はないものと推測しており、現時点においては計画変更は予定しておりません。</p>

3	<p>・サービス拡充に関する事</p> <p>デマンドタクシーの台数増加や運行エリア拡大に関して、運行サービスの見直しが行われることが記載されています。その結果として料金の引き上げ理由につながるのであれば、改定理由に明記することが望ましいと思われます。</p>	<p>デマンドタクシーの運行サービスについては、10月からは現在の2台運行を1台増加して3台体制とすることで、自由乗降区域の拡大や、勝浦地区における共通乗降場所間の乗降を可能とするなど運行ルールを変更する予定です。</p> <p>なお、料金設定の改定案は、サービス拡充によるものではなく、物価高騰による運行経費の上昇と市内公共交通の利用料金を勘案したことによるものです。</p>
---	--	---

- 2 寄せられた意見を考慮した素案の修正。
修正無し。

※ 勝浦市情報公開条例第6条に規定する不開示情報、情報、政策等の策定に係わりのないもの及び賛否の結論のみを示したものについては、掲載を省略することがあります。

○ 問い合わせ先 勝浦市役所 企画課 政策推進係

(乗合様式例)

道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項に掲げる
協議が調っていることの証明書

令和6年8月5日に開催した勝浦市公共交通運賃協議会において、下記事項に関し、協議が調ったことを証明する。

記

・ 協議が調っている運賃（料金）の種類、額及び適用方法

- 運賃 大人：500円
 中学生・高校生・運転免許証自主返納者（運転経歴証明書の所持者）
 障がい者手帳所持者及びその介護者：200円
 小学生（保護者同伴）：無料
 未就学児（保護者同伴）：無料

・ 運賃を適用する路線又は営業区域

- 勝浦市内の上野地区全域・大沢・浜行川・興津の一部・小松野・大楠・松部・串浜の一部・新官の一部・部原

■ 運行方法

デマンド方式による運行

運行エリア外への運行は、市内医療機関、鉄道、商業施設、公共施設、川津区の一部及び御宿町の一部に共通乗降場所を設置（別添運行エリア図参照）

・ 適用する期間又は区間その他の条件を付す場合には、その条件

- 適用する期間 令和6年10月1日から

■ 運行期間

月～土曜日とする。ただし、日曜日、祝日及び年末年始（12/29～1/3）は運休

- 運行時間 午前8時から午後6時まで

・ 運賃を定める一般乗合旅客自動車運送事業者の氏名又は名称

- 運行事業者 エミタタクシー南総株式会社
 千葉県勝浦市墨名700

令和6年8月5日

勝浦市地域公共交通運賃協議会

会 長 加 藤 正 倫

(乗合様式例)

道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項に掲げる
協議が調っていることの証明書

令和6年8月5日に開催した勝浦市公共交通運賃協議会において、下記事項に関し、協議が調ったことを証明する。

記

・ 協議が調っている運賃（料金）の種類、額及び適用方法

- 運賃 大人：500円
中学生・高校生・運転免許証自主返納者（運転経歴証明書の所持者）
障がい者手帳所持者及びその介護者：200円
小学生（保護者同伴）：無料
未就学児（保護者同伴）：無料

・ 運賃を適用する路線又は営業区域

- 勝浦市内の上野地区全域・大沢・浜行川・興津の一部・小松野・大楠・松部・串浜の一部・新官の一部・部原

■ 運行方法

デマンド方式による運行

運行エリア外への運行は、市内医療機関、鉄道、商業施設、公共施設、川津区の一部及び御宿町の一部に共通乗降場所を設置（別添運行エリア図参照）

・ 適用する期間又は区間その他の条件を付す場合には、その条件

- 適用する期間 令和6年10月1日から

■ 運行期間

月～土曜日とする。ただし、日曜日、祝日及び年末年始（12/29～1/3）は運休

- 運行時間 午前8時から午後6時まで

・ 運賃を定める一般乗合旅客自動車運送事業者の氏名又は名称

- 運行事業者 小湊鉄道株式会社
千葉県市原市五井中央東1丁目1番地2

令和6年8月5日

勝浦市地域公共交通運賃協議会

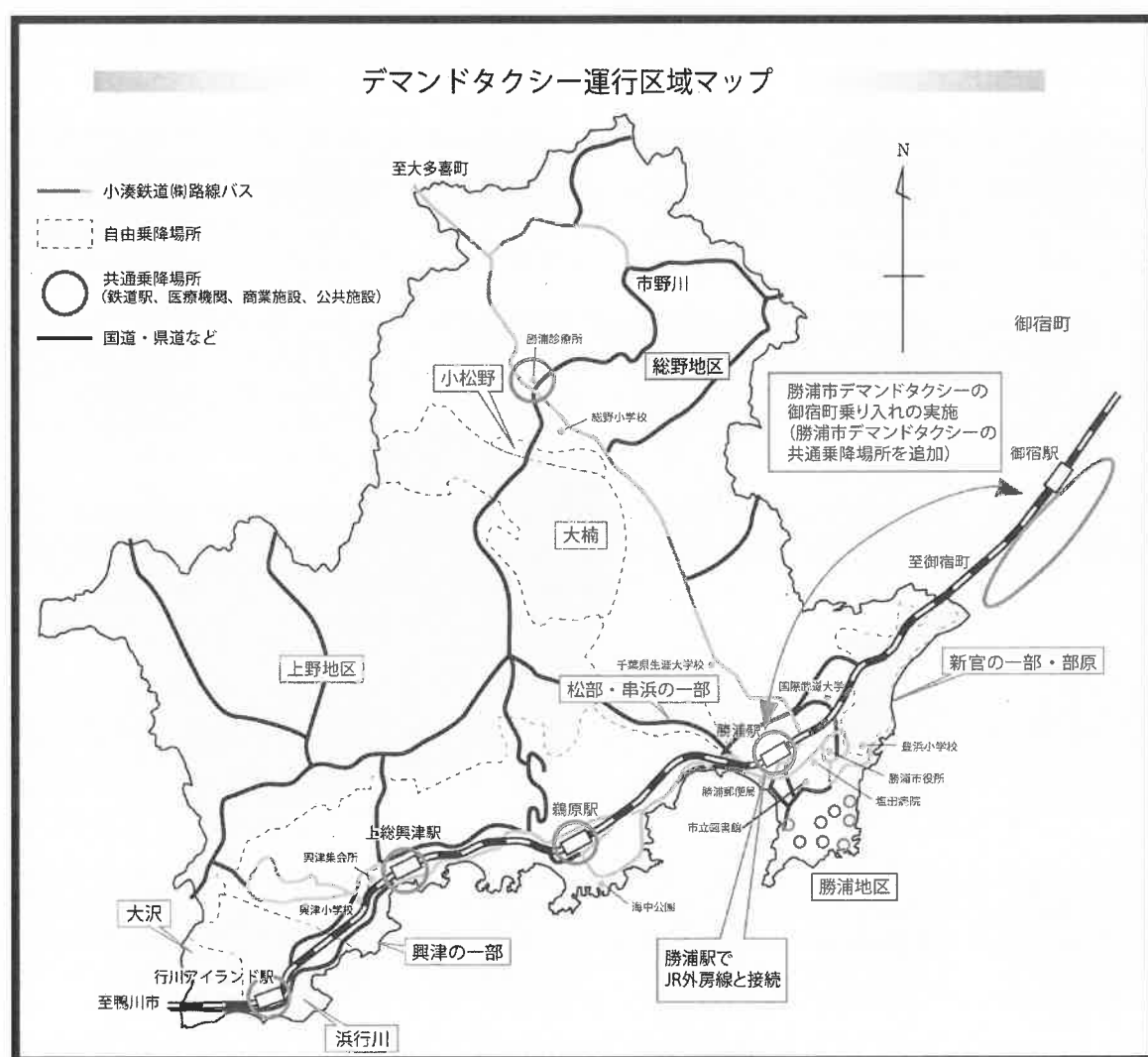
会 長 加 藤 正 倫

添付図面 （運行エリア図）

運行区域

デマンド交通（区域運行型）の運行区域は、上野地区、小松野地区、大楠地区、大沢地区・浜行川地区、興津地区の一部、松部・串浜地区の一部、新官の一部、部原とする。

また運行エリア外への運行は、市内医療機関、鉄道、商業施設、公共施設、川津区の一部及び御宿町の一部に共通乗降場所を設置する。



◆道路運送法の改正◆

一般乗合旅客自動車運送事業の協議運賃制度※について、次のとおり改正されました。

- 従来は、地域公共交通会議で協議されていましたが、独占禁止法上のカルテルに当たるとの疑義が生じないように、別の協議会（運賃協議会）を設置し、運賃を定めようとする事業者のみが協議に参加することとなりました。（道路運送法第9条第4項）
- また、協議会（運賃協議会）の開催に当たっては、事前に公聴会の開催など住民、利用者その他利害関係者の意見を反映させるための必要な措置を講じなければならないこととなりました。（道路運送法第9条第5項）

※「協議運賃制度」とは

一般乗合旅客自動車運送事業者は、運賃及び料金の上限を定めて、国土交通大臣の認可を受けなければならないが、当該運賃等について地域公共交通会議で協議が調ったときは、上限運賃の認可を受けることなく、届出（30日前）で足りるとする制度。

◆改正道路運送法（昭和26年法律第183号）（抜粋）◆

（一般乗合旅客自動車運送事業の運賃及び料金）

第9条 （略）

2・3 （略）

4 一般乗合旅客自動車運送事業者は、次に掲げる者を構成員とする協議会において、地域における需要に応じ当該地域の住民の生活のための旅客の運送を確保する必要がある路線又は営業区域（以下この項において「路線等」という。）に係る運賃等について協議が調ったときは、第一項及び前項の規定にかかわらず、当該協議が調った事項を国土交通大臣に届け出ることにより、当該運賃等を定めることができる。当該協議会において当該運賃等の変更について協議が調ったときも、同様とする。

一 当該路線等をその区域に含む市町村（特別区を含む。以下同じ。）又は都道府県

二 当該運賃等を定めようとする一般乗合旅客自動車運送事業者

三 当該路線等を管轄する地方運輸局長

四 第一号に規定する市町村の長又は同号に規定する都道府県の知事が関係住民の意見を代表する者として指名する者

5 前項第一号に掲げる者は、同項の協議をするときは、あらかじめ、公聴会の開催その他の住民、利用者その他利害関係者の意見を反映させるために必要な措置を講じなければならない。

6・7 （略）

これまで

【地域公共交通会議又は活性化協議会において協議】

⇒協議が調えば運賃を届出

旧 道路運送法 9条4項概要

一般乗合旅客自動車運送事業者が、旅客の利便の増進を図るために乗合旅客の運送を行う場合において、運賃等について関係者間の協議が調ったときは、あらかじめ、その旨を国土交通大臣に届け出ることをもって足りる。

施行規則 9条の2概要

法第9条第4項の協議が調ったときは、地域公共交通会議又は（活性化）協議会において協議が調っているときとする。

令和5年10月1日以降

【公聴会の開催等により、住民等の意見を聞く】

※パブリックコメント募集、市政広報紙、地域住民へのアンケート調査、事業者や事業者団体へのヒアリング実施 などを想定

新 道路運送法 9条5項概要

市町村又は都道府県は、前項の協議をするときは、あらかじめ、公聴会の開催その他の住民、利用者その他利害関係者の意見を反映させるために必要な措置を講じなければならない。

【協議会において協議】

⇒協議が調えば運賃を届出

新 道路運送法 9条4項概要

一般乗合旅客自動車運送事業者は、次に掲げる者を構成員とする協議会において、路線等に係る運賃等について協議が調ったときは、協議が調った事項を国土交通大臣に届け出ることにより、当該運賃等を定めることができる。

一 市町村又は都道府県

二 当該一般乗合旅客自動車運送事業者

三 地方運輸局長

四 市町村の長（又は知事）が住民の意見を代表する者として指名する者

勝浦市地域公共交通運賃協議会規約

(目的)

第1条 勝浦市地域公共交通運賃協議会（以下「協議会」という。）は、道路運送法（昭和26年法律第183号）第9条第4項の規定に基づき、地域における需要に応じ当該地域の住民の生活のための旅客の運送を確保する必要がある路線又は営業区域に係る運賃等について協議することを目的とする。

(事務所)

第2条 協議会の事務所は、勝浦市新官1343番地の1に置く。

(業務)

第3条 協議会は、第1条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 地域の実情に応じた適切な一般乗合旅客運送の運賃等に関する協議
- (2) 前号に掲げるもののほか、協議会の目的を達成するために必要な業務

(協議会の委員)

第4条 協議会は、別表に掲げる委員をもって組織する。

- 2 協議会は、運賃等を定めようとする一般乗合旅客自動車運送事業ごとに開催し、協議に参加する委員は、当該事業に関係する者に限る。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 前条の委員のうち、行政機関の職員及び団体の役員として委員となっている者の任期については、その職にある期間とする。
- 3 欠員により新たに委員となった者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第6条 会長は、勝浦市地域公共交通活性化協議会の会長を務める者をもって充てる。

(副会長)

第7条 副会長は、委員の互選により定める。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第8条 会議は、必要に応じて会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

- 3 議事は、出席委員の過半数をもって決する。
- 4 前各項に定めるもののほか、会議の運営に関して必要な事項は、会長が別に定める。

(会議の書面開催)

- 第9条 やむを得ない事情等により、会議を開催することが困難なときは、書面により委員に賛否を求め、委員から書面による回答を得ることで、会議の決議に代えることができる。
- 2 前項の規定にかかわらず、委員の過半数から書面による回答が得られなければ、会議の議決に代えることができない。
 - 3 第1項に規定する場合における会議の議事は、前条第3項の規定を準用する。

(協議結果の尊重義務)

- 第10条 委員は、協議会において協議が調った事項について、その協議結果を尊重しなければならない。

(事務局)

- 第11条 協議会の事務を処理するため、協議会に事務局を置く。
- 2 事務局は、勝浦市役所企画課内に置く。
 - 3 事務局に事務局長及び事務局員を置き、会長が定めた者をもって充てる。
 - 4 事務局に関して必要な事項は、会長が別に定める。

(補則)

- 第12条 この規約に定めるもののほか、協議会に関して必要な事項は、会長が会議に諮り別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、令和6年4月1日から施行する。

(委員の任期の特例措置)

- 2 協議会設立時における委員の任期は、第5条の規定にかかわらず、令和8年3月31日までとする。

別表（第4条関係）

関係条項	委員
法第9条第4項第1号	勝浦市副市長
法第9条第4項第2号	運賃等を定めようとする一般乗合旅客自動車運送事業者等の代表
法第9条第4項第3号	国土交通省関東運輸局千葉運輸支局長又はその指名する者
法第9条第4項第4号	運賃等を定めようとする一般乗合旅客自動車運送事業に関係する住民等の代表

勝浦市地域公共交通計画の評価等結果（令和5年4月～令和6年3月）

議題1

目標	評価指標		目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
	評価指標						
①市内の移動支援の充実	デマンドタクシー1日平均利用者数 (令和3年度 12.4人→令和8年度 15.0人)		事業① デマンドタクシーの運行サービス見直し	交通事業者からの実績報告書を用いて算出	【未達成】 14.4人（令和5年度） 新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除されたことに伴い、利用者が回復傾向にある。	令和6年10月からサービスの拡充や新たな運行管理システムを導入し、利用促進を図る。	
	デマンドタクシーの利用者満足度 (令和3年度 53.3%→令和8年度 60.0%)		事業① デマンドタクシーの運行サービス見直し	デマンドタクシー利用者アンケート	【未達成】 59.0%（令和5年度） 令和3年度時に比べ5.7%満足度が向上しているため、引き続き利用者満足度の向上に向け取り組んでいく。	令和6年10月からサービスの拡充や新たな運行管理システムの導入により利便性の向上を図る。	令和7年度実施予定
②移動ニーズに即した広域アクセスの強化	勝浦駅1日平均利用者数 (令和3年度 661人→令和8年度 1,000人)		事業③ J R 外房線の利用促進	鉄道事業者の有するデータを用いて算出	【未達成】 810人（令和5年度） 新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除されたことに伴い、利用者が回復傾向にある。	JRに対し利便性確保に対する要望をしていくとともに、鉄道の利用を促進する企画切符等の周知を図る。また特急券・定期券購入補助制度も周知し利用促進につなげる。	
	市内停留所における高速バスの年間利用者数 (令和3年度 14,633人→令和8年度 26,000人)		事業④ 高速バスの利便性向上	交通事業者の有するデータを用いて算出	【未達成】 20,532人（令和5年度） 新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除されたことに伴い、利用者が回復傾向にある。	勝浦・東京線の高速バス利便性向上のため、乗降が可能なよう、沿線市町と連携を図り、協議を進めていく。	
③利便性の高い公共交通環境整備	交通結節点整備箇所数 (令和3年度 1箇所→令和8年度 2箇所)		事業⑦ 交通結節点の機能強化	—	【未達成】 事業展開に向け検討を図った。	交通事業者と協議を重ね、バス乗継改善や夜間タクシー導入により機能強化を図っていく。	
④観光施策と連携した移動支援及び利用促進	観光施設等との連携による利用促進活動の導入件数 (令和3年度 1件以上→令和8年度 1件以上)		事業③ 観光施設等との連携サービスの導入	—	【未達成】 事業展開に向け検討を図った。	「おでかけモデルプラン」について検討・作成するとともに、割引サービス・企画切符等の導入を検討していく。令和6年度は、JRが中心となり夷隅郡市自治体（2市2町）と連携し、地域・観光型MaaS「まるごとわかしおMaaS」を展開する。	
	乗り方教室回数 (令和3年度 0回→令和8年度 延12回)		事業⑨ 意識啓発を促す利用促進活動の展開	—	【未達成】 事業展開に向け検討を図った。	路線バス等の乗り方教室の開催に向け、交通事業者と調整を行う。	
	デマンドタクシー運行収支率 (令和3年度 8.8%→令和8年度 10.5%)		事業① デマンドタクシーの運行サービス見直し	バス事業者の有するデータ及び令和5年度一般会計決算から算出	【未達成】 9.9%（令和5年度） 運賃収入1,437,700円÷運行経費14,503,500円	市ホームページや市広報誌により利用拡大のための周知を行い、収支率向上につなげる。	

目標	目標を達成するための取組				調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
	評価指標							
⑤地域全体で支える公共交通の構築	公共交通への公的資金投入額 (令和3年度 2,090万円→令和8年度 2,090万円)	地域内ファイダーシステム確保維持費国庫補助金の活用		令和5年度一般会計決算から算出	【未達成】 2,543万円 (令和5年度) ①バス路線運行維持補助金： 11,460,350円 ②デマンドタクシー運行事業： 9,045,282円 ③タクシー事業者支援事業： 1,000,000円 ④夜間タクシー運行確保事業： 473,000円 ⑤高速バス運行確保維持事業： 3,444,000円	各種事業の実施により公共交通の利用促進を図り、公的資金投入額の削減を目指す。		

(記載に当たったの留意事項)

- ・ 本様式中、表題の「(〇年〇月～〇年〇月)」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価にならないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「－」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

勝浦市地域公共交通計画推進業務 業務概要

(1)公共交通を利用したお出かけツアーの検討・実施

公共交通における地域課題を共有するとともに、地域資源としての公共交通の有用性の理解促進を図るため、日常生活において自家用車を利用する市民等を対象に、公共交通を利用したお出かけツアーを実施する。

■ツアー概要（案）

対象	勝浦市在住の親子（小学1～4年生）
開催時期	9月～11月・休日のうち2回実施
定員	各回5組10人程度
参加者 募集方法	・周知ポスターの作成・配布 ・市HPや公式SNS等での発信 ・市内小学校等での呼びかけ
参加者 アンケート	・ツアー全体の満足度 ・公共交通を利用して感じた良い点、改善点 ・今後の公共交通の利用意向、利用するための条件 等

■ツアー（案）

《テーマ》 鉄道とバスを乗り継いで行く！公共交通の大冒険！！



■ポイント

- 交通事業者と協力し、公共交通の乗り方や使い方を知ってもらうための乗り方教室を実施
- 公共交通を好きになってもらうため、子どもが楽しい体験型のツアーを企画
- 広域での移動によりいすみ地域の魅力を再発見

■費用（ランチ代除く）

・大人 1,320円 子供 670円

■協力事業者

・東日本旅客鉄道(株) ・いすみ鉄道(株)
・小湊鉄道(株)

電車の乗り方教室（JR東日本）

- ✓ JR職員による、切符やSuicaの使い方の説明や購入体験、電車の乗り方の説明を実施。
- ✓ 子ども用駅長制服の着用や、駅LED発車表示表の表示体験等、体験型の企画を検討。

バスの乗り方教室（小湊鐵道バス）

- ✓ 小湊鐵道バス職員による、バス乗車の安全マナーや乗り方等を説明。
- ✓ また、降車バスのボタンを押す体験会や大多喜車庫の見学等を検討。

(2)モビリティ・マネジメントに関するセミナーの検討・実施

移動手段を過度に自家用車に頼る生活スタイルの見直し及び公共交通の利用促進のほか、健康増進や環境対策として求められる CO2 排出抑制に対する認識について地域全体で深めるため、モビリティ・マネジメントを実施する。

■セミナー実施概要（案）

実施時期	12 月～1 月上旬
参加者	勝浦市民 等
募集方法	周知ポスターの作成により、各関係者へ情報発信
実施方法	現地・オンライン参加の併用によるハイブリッド方式
申込方法	参加申込フォームを作成（オンライン参加者用）※現地参加は申込不要
登壇者（案）	勝浦市、市内関係事業者、学識経験者 等
プログラム	<p>【全体 120 分程度】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 本事業及びセミナーの趣旨説明（5 分）2. 交通事業者を取り巻く課題の説明（15 分）3. 公共交通利用のメリット・デメリットを多方面から紹介（60 分）4. 全体講評及び実施予定ツアーの周知（10 分） <p>セミナー終了後、アンケート調査を実施</p>
参加者 アンケート	<ul style="list-style-type: none">・公共交通利用への転換の必要性・自家用車利用から公共交通利用へ転換可能な外出行動・本セミナーにおける満足度・次回開催時における講演内容